

A Iと人間が共存する時代において

藤岡市立北中学校

三年 松井 穂佳

「生成A I」

頻繁にニュースで取り沙汰されているので、誰もが一度は聞いたことがあると思います。生成A Iとは、学習データをもとに、テキスト、画像、音楽、動画などの新しいコンテンツを自動で作成できる人工知能のことです。身近な暮らしの中でも活用されることが増え、現代では若者の日常でもA Iが浸透してきています。しかし、その一方で、昨今では特に未成年者によるA Iに関する怖い事件が増え、起きているのも事実です。

姉妹のケンカを叱る父親の態度について、娘がチャットG P Tに相談を試みたことで父親が逮捕されてしまった事件は、私だけでなく多くの人が衝撃を受けたのではないでしょう。驚いたことに、相談先として選んだのは、友人

や親戚、家族でもなく「チャットG P T」だったのです。

チャットG P Tとは、人間のようになつた会話ができる生成A Iサービスです。質問や指示をテキストで入力するだけで、膨大なデータをもとに数秒で私たちに寄り添った、聞こえのいい回答をしてくれます。

A Iに相談し、勧められるがままに児童相談センターへ連絡を入れたことで、事態はここまで大きな事件へと発展してしまつたのです。

この話を聞くと、「チャットG P Tが家庭を崩壊させた。」と感じる人も少なくないでしょう。しかし、本当にチャットG P Tが全て悪いのでしょうか。A Iは情報を集めて選択肢を提示した。ただそれだけです。問題はその情報を受け取った後だと思うのです。おそらく、「父親にぎやふんと言わせたかった」「話を聞いてほしかった」、チャットG P Tに相談した動機は一時的なものだと思います。A Iが出したのはあくまでも「情報」。しかし、正解として受け取ってしまい、電話した後に何が起るのかを想像しないまま実行してしまつたのでしょうか。電話したら何が起るのか？ 父親はどうなるのか？ 自分は、本当は

どうしたいのか？ この想像のプロセスをスキップさせ、AIは情報を提供します。その先に何が起こるかを自分で考える前に。

世の中の技術がどんどん進歩して、私たちの生活は便利になっていきます。スマホ一台あればインターネットで世界中の人々と繋がることができますし、動画や音楽を買わずに楽しむこともできます。宿題もAIにお願いすればすぐに答えを出してくれる時代なのです。思考力を育まなければならぬ私たちにとって、AIに頼り思考の丸投げをすることは、決して良くないことです。犯罪や、不適切な考え方への誘惑。誤った情報。自分にとって何が有益であるかは、あふれた情報の中から自分で判断しなければならぬのです。そのために何が必要なのでしょうか。私なりに考えてみました。

便利な道具があるなら活用するべきです。ただ、その道具を正しく使うことが重要だと思うのです。アニメで有名なドラえもんがポケットから出す多種多様なひみつ道具。

それらはのび太くんの身にふりかかる災難を一時的に解決しますが、道具を不適切に使い続けた結果、のび太くんが

痛い目に逢うというお決まりの展開は、皆さんもよくご存じでしょう。AIは完璧な存在ではなく、扱い方を間違えるとリスクを生むことを忘れてはなりません。AIが出した情報を鵜呑みにせず、「優秀なアシスタント」として上手に活用していくことが良いのではないのでしょうか。

最後に正しい判断をするのは自分です。

AIと人間が共存する時代において、AIの提案する選択肢から正しい判断を下すには「知識」と「経験」が不可欠です。学校で学び、沢山の人と出会い、関わることで、豊富な知識と経験が培われ、自分で判断し、問題を解決する力がおのずと身についていくのではないのでしょうか。

私たち人間だけが持っている「豊かな心」を大切にしながら、AIを適切に活用していくことで、より豊かな未来を築いていくことができると私は考えます。